

市政に対する一般質問

一般質問は、提出された議案にかかわらず、市政全般に対して、議員が執行者の考え方をただすことができるものです。
6月定例会では、6月16日・17日の本会議で14人の議員から質問が行われ、論議が繰り広げられました。以下は質問・答弁の概要です。(掲載は質問順、4面まで続きます)

市道10号線の工事で発生した事件の原因と解決方法は

日本共産党 松本 春男

年間で1千万円を超える大掛かりな工事などを、年に2〜3本程度抜き出して、写真に写っていない箇所を試掘調査する考えはないか。また、今回の工事では、現場代理人の氏名が情報公開されなかったが、公開するよう改めないか。

問 市道10号線の手抜き工事は、孫請会社への支払いが止まっていることから明らかになった。このような事件が発生したのはなぜか。また、解決方法をどのように考えているのか。この問題では、市が写真を写すよう指示した場所で撮られていないことが明らかになった。過去3

大震災を想定した諸問題に市はどのように取り組むか

市民会議21 増田淳一郎

か。避難所は現在、市で指定しているが、企業の敷地や駐車場、スーパーの駐車場、蓼川の引き込み線脇の広場、米軍のゴルフ場、寺尾の森と必要に応じて協定などを結び避難所としないか。また、防災意識の再確認のため、防火の日を改め、防災の日と定める考えはないか。

問 私たちの住むこの地域も、近い将来大震災に見舞われる可能性が高い。震災時の一人暮らしの高齢者や身体に障害のある方の支援体制、人工透析が必要な方の対応はどうするのか。また、市内には人工透析を行う医療機関がないが、助成金を出して人工透析を行う施設を造らない

プラスチックごみの固形燃料化は健康被害を誘発

日本共産党 上田 博之

答 今回対象とするプラスチック製品は、市民の分別排出の分りやすさを第一に考え、容器包装プラスチック以外のものをすべてを対象としている。ほかのリサイクル事業と同

問 市では、地域要援護者登録制度により、自治会や地域の方に登録した情報を提供し、災害発生時に自力で避難することが困難な市民を支援する体制を整備している。人工透析が必要な方は、災害時に利用できるシステムづくりが必要と考える。人工透析施設の設置は、関係医療機関へ働きかける。また、避難所は公園などの公共施設を活用することとしており、民間施設や厚木基地内、寺尾の森の活用は考えていない。防災の日は、今後関係部署と調整を図るが、防火思想の普及ということである撤退の決断を下すことを望む。

利用されていない小さな公園を今後どう扱うのか

市民会議21 笠間 善晴

近くまで来てあまり利用されなくなり、ベンチなどが傷んでいる公園もある。地域の方々がパトロールをしているが、管理が大変という話も聞いている。今後、これらの公園をどう扱っていくのか。

問 昭和39年ごろ、宅地造成による開発が進んでいたが、当時は開発に対する要綱などがなかったと思われる。その後、指導基準や要綱が制定され、公園が作られてきている。しかし、小規模開発により隣接して造成が行われたところには、近距離に小さな公園が設置されている場合がある。また、後に中規模の公園が



インター設置に向けた取り組み状況と経済効果は

綱嶋 洋一

とは承知している。しかし、寺小橋付近にインター設置が予定されているという知名度はまだ低く、さらなる意識啓発が必要と考える。県と市の現在の取り組み状況と、インター設置の経済効果について伺いたい。

問 (仮称)綾瀬インターチェンジの設置は、市の活性化にとって重要であると同時に、県央・湘南地域の活性化にも期待されている。県の総合計画「神奈川力構想」に位置づけられ、環境アセスメントも実施されている。市としても、市民周知をはじめ、環境問題など解決すべき課題について、地道に取り組んでいるこ

答 県では、環境アセスメントと並行して都市計画決定の手続きを開始した。地域で説明会を開き、年度末までに素案策定の予定である。市では、インターを活用したまちづく



文化会館エントランスホールで毎月2回行われている「ローズコンサート」。6月10日には、女声コーラスグループの美しいハーモニーが響き渡りました

りに向け、各種マスタープランを見直すほか、シンポジウムなどで情報提供と意見把握に努める。経済効果では、優良企業を誘致することで、産業集積による事業活動の活性化と雇用の拡大、これに伴う税収の増大が

見込まれる。また、農地の有効活用と生産性の向上による都市型農業の進展や地場農産物の流通の拡大など、さらなる市の発展も見込まれる。(ほかに「介護保険制度について」を質問)